

尚英中学校にて新地駅周辺まちづくりについての講座を実施しました

7月2日（月）に、「新地町出前講座～駅前周辺まちづくりについて～」を実施しました。尚英中学校の全生徒が参加し、新地町企画振興課・泉田課長が講師として、相馬 LNG 基地からの液化天然ガスを利用した地産地消型エネルギー利用のまちづくりについて説明し、理解を深めました。その後の生徒からの質問では、「駅周辺を利用するための交通手段はどうなるのか」、「駅周辺以外でどのようなまちづくりが行われているのか」など、幅広い範囲のまちづくりに話題が広がりました。

講座を通じ、駅周辺の将来を具体的に学ぶことができ、また、まちづくりやまちの未来について考え、復興の進捗を実感する機会となりました。



生徒の声（アンケートより）

講座の感想

- 新たな新地町ができるのでとても楽しみ。わくわくする。楽しくなりそう。
- 町を復活、発展させていく考えを知ってうれしくなった。今以上に笑顔あふれる町になってほしいと思った。
- 自分たちもできる限り協力したい。貢献したい。参加したい。自分でできることを考えていきたい。
- 新地町が好きなので、新地をもっとたくさんの人が知り、たくさんの人が好きになるよう、まちづくりに協力できたら良い。
- エネルギーを使って駅周辺でいろいろな施設をつくるのはとても良いアイデアだと思った。
- エネルギーの話聞いて、もっとエネルギーのことを知りたいと思った。

駅周辺まちづくりへの意見

- 農業生産施設でできた食べ物をみんなで食べたい。
- 地元で捕れる魚について、知ることができる場所やイベントなどがあったら良い。
- 花をたくさん植えて欲しい。
- 今の新地町の景色も大切にしてほしい。

その他の意見

- 海でイベントをしてほしい。ゴミ拾いの活動を学校で開催してはどうか。
- 山や海など、周辺にもお店などを作って欲しい。
- しんちゃん号を増やして、お年寄りの行動が活発になれば良いと思う。

質問

- お年寄りも使いやすいのですか？
⇒すべての施設内および駅や駐車場からの経路は、スロープ設置などのバリアフリー化につとめ、全ての方が使いやすいようにします。
- 複合商業施設にはどのようなお店を予定しているのですか？
⇒飲食店のほか、学習塾、接骨院、美容サロン、カラオケなどのサービス施設を想定しています。
- 地域エネルギーセンターが完成した時、見学などに家族で行くこともできるのですか？
⇒多くの方に施設を見て学んでほしいと考えています。

「新地駅周辺まちづくりニュース」は、新地駅周辺の新たな拠点整備事業の過程において、事業内容や整備される施設の紹介、進捗状況などを、事業完了に向けて定期的にお知らせいたします。

発行：新地町都市計画課・企画振興課 新地町谷地小屋字樋掛田 30 TEL. 0244-62-2113・2112 FAX. 0244-62-3194

新地駅周辺まちづくり ニュース

新地町の新しい拠点づくりの最新情報をお伝えします！

第3号

発行：新地町
2018. 7. 20

国立環境研究所・東京大学大学院新領域創成科学研究科と 連携・協力に関する協定を締結しました

6月3日（日）、新地町・国立研究開発法人国立環境研究所・国立大学法人東京大学大学院新領域創成科学研究科の三者による連携・協力に関する協定を締結しました。

本協定は、これまでも実施してきた新地駅周辺をはじめとする環境・エネルギー・まちづくり等に関する相互の協力関係をより深め、新地町における復興と環境、経済とが調和した持続可能な環境都市の暮らしと産業の実現に資することを目的としています。

締結式では、協定書に調印後、今後の展開について発表がありました。国立環境研究所からは、エネルギー消費データ解析による需要予測シミュレーションの実施や低炭素社会に向けた復興まちづくりのシナリオ作成と町の施策への反映、東京大学大学院からは、公[町]・民[住民、エネルギー事業関連企業など]・学[大学や研究機関]の連携によるまちづくりの連携体制構築と、まちづくり拠点の設置・運営の構想が説明されました。

今後、新地駅前を教育研究拠点として、大学院生が新地町を学びの場に訪問・滞在し、その過程で地域の方々とも交流を行います。また、新地町におけるエネルギーの先進的な取り組みのデータを活かした研究を行っていきます。



加藤憲郎町長（中央）、渡辺知保国立環境研究所理事長（左）
三谷啓志東京大学大学院新領域創成科学研究科長（右）

【連携・協力内容】

1. 互いの情報、資源、研究成果等の活用に関すること
2. 環境、まちづくり、地域エネルギー分野等における人材育成に関すること
3. 研究成果等の地域への還元及び啓発に関すること
4. その他、目的達成のために必要な事項

【今後の取組み】

- 新地駅、エネルギー拠点を中心とする環境に配慮した復興まちづくりを支援する調査研究
- 新地スマートエナジー株式会社と連携したエネルギーに関する調査研究
- 地域資源を活かしたさらなる地域環境創生に関する調査研究
- 新地町におけるフィールドワーク等を通じた研究教育活動の実施

家庭のエネルギーの効率化、節電を実現！ HEMS 機器設置世帯を募集しています

問合せ：新地町企画振興課

新地駅周辺で進めるスマートコミュニティ導入促進事業の一環として、HEMS 機器を設置してエネルギー使用量等の情報収集にご協力いただける家庭を募集しています。一般家庭のエネルギーの使用量などの情報を集め、エネルギーの効率的利用を促進し、将来の町の取組みに役立てることを目的としています。

HEMS 家庭ごとに電力使用量を計測し、リアルタイムで消費電力状況、節電状況、電気代の節約状況などを、パソコンやタブレットで分かり易く「見える化」します（右イメージ）。ご家庭の省エネをサポートします。

ご協力いただける家庭には、住居に電力使用量を計測する機器（HEMS 機器）の設置工事を行います。設置工事にかかる費用については町が負担します。機器の設置に伴い現在ご契約されている電力会社が切り替わることはありません。なお、住居にインターネット回線（固定）が設置されている必要があります。



新地駅周辺の整備イメージと工事進捗状況 平成30年7月現在

エネルギーセンター

H30年12月完成予定
建物内のガスエンジンにより、天然ガスを利用して、駅周辺地区の施設で利用する電力と熱を生産・供給します。

【建築概要】

建築面積 695㎡
延床面積 694㎡
構造 鉄骨造、地上1階
最高高さ 9.24m



基礎工事及び埋め戻し工事が完了



鉄骨建て方工事の様子

地域導管

H30年12月完成予定

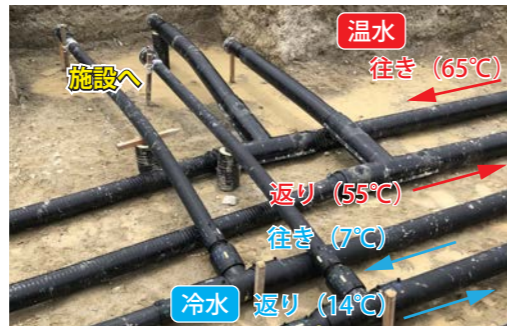
地中に埋設された導管が、エネルギーセンターで生産した電気、熱（温水、冷水）を各施設に運びます。

【施設概要】

熱導管（冷水） 約1,000m
（温水） 約1,200m
自営線（電気） 約1,900m



深さ約1.3m、幅約2.6mの中に合計7本の管が埋設され、地区内を巡っています。



本管から分岐して、各施設へとエネルギーを運びます。

交流センター

H31年3月完成予定

音楽や演劇に対応した音響・舞台設備の整備された多目的ホール（445席）と音楽バンドの練習などが可能なスタジオ、会議室、ラウンジなどから構成されます。

【建築概要】

建築面積 1,895㎡
延床面積 1,828㎡
鉄骨造・鉄筋コンクリート造・木造の混構造、地上1階・一部2階
最高高さ 14.96m



口径1.1～2.0m、長さ12～21mの杭を29本打設します。現場で穴を掘り、鉄筋を挿入後、コンクリートを打設し、杭を造成します。

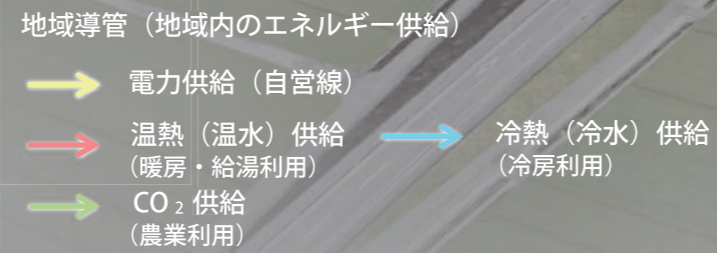


最も深いところで約3m掘削し、基礎を構築します。写真中、丸く見えるのが基礎杭の頭部で、建物を支える重要な役割をはたします。



整備イメージ

平成31年度初めには、概ねの施設整備が完了する予定です。



ホテル・温浴施設

民間施設、H31年4月完成予定

露天風呂やサウナなども楽しめる天然温泉と107室のホテルからなります。



安全祈願祭（H30.7.11）
温泉掘削の様子：地下326mまで掘り、湧き出た28.1℃の源泉を揚水ポンプで汲み上げます。

【建築概要】

建築面積 2,154㎡
延床面積 4,584㎡
鉄骨造
地上4階

複合商業施設

H30年12月完成予定

8店舗のテナント（飲食・サービス等）に加えて、インキュベーション施設（創業支援）や商工会が入居の予定です。

【建築概要】

建築面積 947㎡
延床面積 808㎡
鉄骨造、地上1階一部2階
最高高さ 8.0m

観海堂公園

整備済み



全面芝生の公園として整備されています。屋外イベントでも利用可能です。

【施設概要】

敷地面積 2,750㎡

観海堂の石碑：津波により流された石碑が再び建立されています。

スポーツ施設

H30年度中完成予定

フットサルコート（テニスコートとしても利用可能）2面からなります。

【建築概要】

■フットサル場	■管理棟
建築面積 1,993㎡	108㎡
延床面積 1,985㎡	98㎡
鉄骨造、地上1階	木造、地上1階
最高高さ 14.50m	3.37m

農業生産施設

H31年度中事業開始予定

果樹栽培等を予定しています。事業者が選定され（5/21）、今後、詳細に検討していきます。